

六月十八日、安曇川公民館において、総会並びに研修会（講話）を、百三十名（内委任状百五名）の参加を得て開催されました。（事務局）

### 平成二十九年 総会

川越清司会長の挨拶の後、深川澄雄さんが議長に選出され、議事に入りました。はじめに平成二十八年度の事業報告と決算報告並びに監査報告があり、承認されました。



## 平成 29 年度高島藤樹会

次に、定款52条の変更が承認されました。この件については、法の改正に伴い、この会の後に「貸借対照表の公示をこの会のホームページに掲載する」旨を追加するものです。

続いて、報告事項である平成二十九年事業計画及び予算が報告されました。

### 今年度の主な活動予定

- 心のセミナー開催
- 講演会（期日等未定）
- 藤樹賞の選考と表彰
- 講演・講話・指導活動（随時）
- 論語素読教室（随時）
- 教材の研究・開発
- 紙芝居による啓発推進
- 藤樹像制作に向けた調査
- 藤樹人間学塾（毎月第一土曜日）
- 藤樹さんに親しむ会（毎月第一日曜日）
- 会報『高島藤樹会』の発行（年三回）
- 「高島藤樹会」のホームページ更新（随時）
- 小学校立志祭に啓発品贈呈（「五事を正す」クリアーホルダー）
- 「中江藤樹DVD」等の販売
- 大洲祭りで高島市土産の販売

### 研修会（講話）

「論語に学ぶ『孝』の心」

講師 乾進一 先生

●講話を拝聴して

総会にて論語に親しむ

川越 清司

総会後に、論語のお話を（株）パナソニックマーケティングスクール（旧称：松下幸之助商学院）商道科・論語講師の乾進一先生をお迎えして、参加者一同が拝聴させていただきました。



さすがに商学院、パナソニックの販売店の後継者を育てる活学論語。章句に親しみながら意味や背景の説明を受け、生徒達とのやり取りを話されながら「孝」の基本を教えられます。特に商道と親孝行の実践的な（私が孝を学んだ受講生）とのお話は、親子でありながら仕事を通じて子供が成長していく姿を表現し、また親が子供に対して慈しみの心で対応する。まさしく活きた論語教室でした。

いつの時代にも普遍性を持っている孝や譲、謙虚、徳という言葉も行動も感じるのが少なくなってきたように感じます。経済最優先の風潮の中で、パナソニックが道徳を全面に出し、社員やそのまわりの方が学んでおられることに敬服致します。講師のお話では、学院の生徒さん達は研修のために藤樹書院・記念館・神社・墓所・良知館を訪れるそうです。藤樹先生を通じて商学院や藤樹会のご縁が益々広がることを願います。

### ひじりの声

上田藤市郎

台北の孔子廟に「有教無類」の巨大な文字が書かれている。論語の中の「子曰はく、教え有りて類無し。」である。様々な解釈がなされているが、教育によって人間に区別がなくならないという意味である。藤樹先生は江戸時代の初期に上小川の農村を、大洲では武士の社会をつぶさに見て行き着いた点は、人間本来の願いは、「心の安楽」であり、「日々の健やかな生活子孫の繁栄と長寿」だとされた。武士の支配下にあった庶民にとって、天災、戦争、飢餓、病氣、貧困からのストレスは過大であったろう。先生は、これらを克服する根本は、経済の発展も含めて、為政者、庶民の教育にあるという信念を抱かれたのであろう。

ただこの学びは、現代の高等教育が目指す知性や学力とは全く異なる。「子曰はく、過ちて改めず、是を過ちと謂う。」「上に居て驕らざれば、高けれども危うからず。」「法に非ざれば、言わず。言、天下に満ちて口過なく。」を根底に言行を身につけることである。

一国の総理や大臣、議員と言え、高等教育を受け、品性を培った相当の人物でなければ務まらないと思われる。我が国の教育は、明治維新以後今もなお知育、学力偏重で、「有教無類」の成果をあげていないのである。